

問 1 次の略地図は、南極点を中心に緯度0度までの範囲を表したものであり、緯線は南極点から、経線は本初子午線からそれぞれ等間隔に引いたものである。また、表1～表3は、略地図中の様々な国の自然や産業についてまとめたものである。

これらの略地図及び表1～表3について、あとの各問いに答えなさい。

略地図

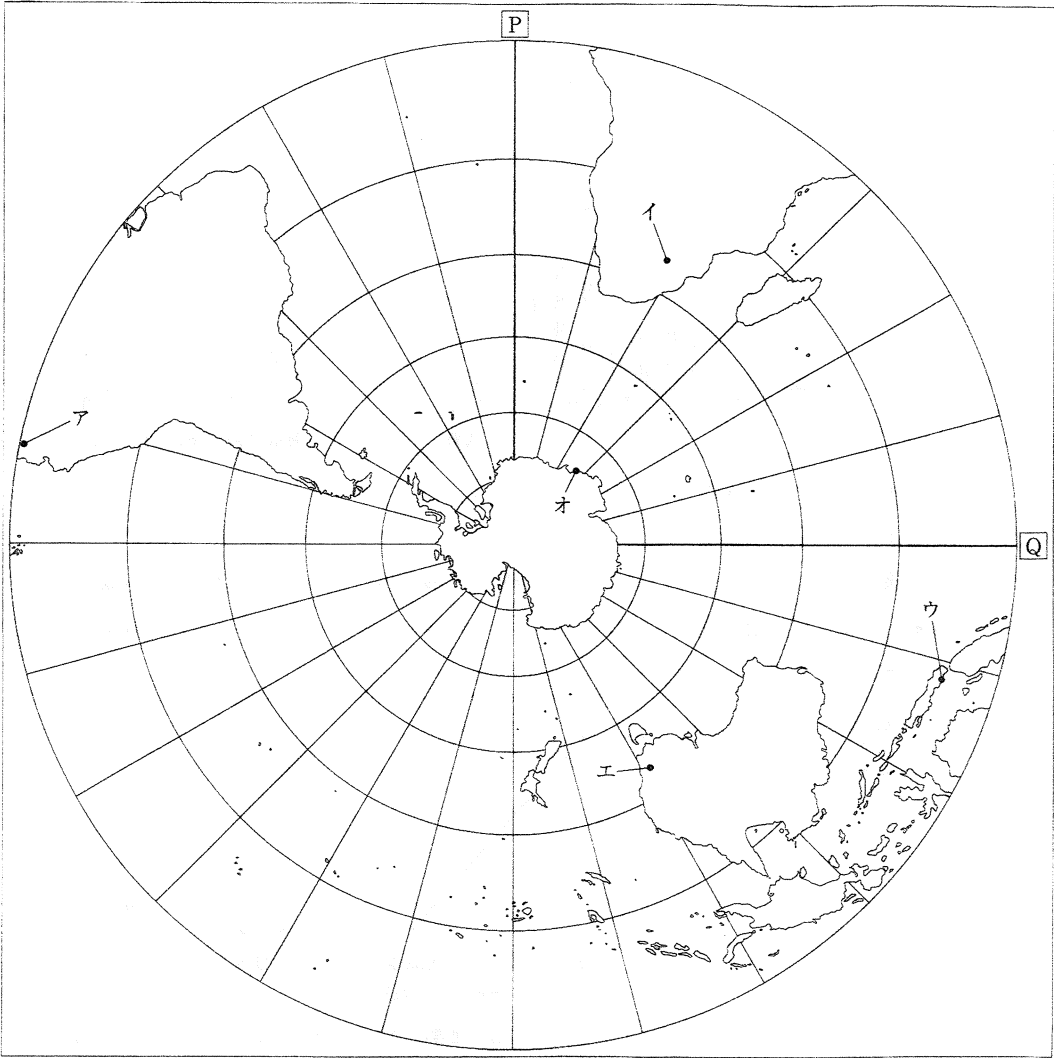


表 1 略地図中の都市などの日の出・日の入りの時刻と日照時間

	2019年 6 月30日			2019年12月31日		
	日の出	日の入り	日照時間	日の出	日の入り	日照時間
都市ア	午前 6 時14分	午後 6 時21分	12時間 7 分	午前 6 時13分	午後 6 時21分	12時間 8 分
都市エ	午前 7 時13分	午後 5 時 1 分	9 時間48分	午前 4 時51分	午後 7 時21分	14時間30分
オ	－	－	0 時間	－	－	24時間

注：時刻は現地時間。オは日本の昭和基地。夏時間(サマータイム)は考慮していない。
 (「国立天文台ウェブサイト」をもとに作成)

表2 石炭の輸出量(2016年)

国	輸出量 (単位：万トン)
都市エを首都とする国	38,930
都市ウを首都とする国	36,958
ロシア連邦	16,612
コロンビア	8,333
都市イを首都とする国	6,994
世界計	130,315

注：「世界計」は、その他の国の輸出量を含む。

表3 都市エを首都とする国の輸出品(2017年)

品目	輸出額 (単位：百万ドル)
鉄鉱石	48,521
石炭	43,296
液化天然ガス	19,669
金(非貨幣用)	13,520
肉類	9,085
総額	230,163

注：「総額」は、その他の品目を含む。

(表2・3は、『世界国勢図会2019/20年版』をもとに作成)

- (ア) 略地図について説明した次の文中の「あ」、「い」にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

略地図中の「P」で示した経線は本初子午線であり、「Q」で示した経線の経度は「あ」である。また、世界の6つの大陸のうち、略地図中に描かれていないのは、北アメリカ大陸と「い」である。

1. あ：東経90度 い：アフリカ大陸
 2. あ：東経90度 い：ユーラシア大陸
 3. あ：東経90度 い：南アメリカ大陸
 4. あ：西経90度 い：アフリカ大陸
 5. あ：西経90度 い：ユーラシア大陸
 6. あ：西経90度 い：南アメリカ大陸
- (イ) 次の文a～fのうち、表1～表3について正しく説明したものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a 表1によると、都市エの2019年6月30日の日の出の時刻は都市アの日の出の時刻よりも遅く、都市エの2019年6月30日の日の入りの時刻は都市アの日の入りの時刻よりも早い。
- b 表1によると、オは2019年6月30日は終日、太陽が沈まず、2019年12月31日は終日、太陽が昇らない。
- c 表2によると、都市エを首都とする国の石炭の輸出量が「世界計」に占める割合は、約30%である。
- d 表3によると、都市エを首都とする国の輸出品のうち、輸出額が多い上位3品目の輸出額の合計が「総額」に占める割合は50%以上となっている。
- e 表2をもとに、国ごとの石炭の輸出量を比較するときには、棒グラフが適している。
- f 表3をもとに、都市エを首都とする国の品目ごとの輸出額の割合を示すときには、円グラフよりも折れ線グラフが適している。

1. a, c, e
 2. a, c, f
 3. a, d, e
 4. a, d, f
 5. b, c, e
 6. b, c, f
 7. b, d, e
 8. b, d, f
- (ウ) 略地図中の都市ウのようすについて説明した文として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

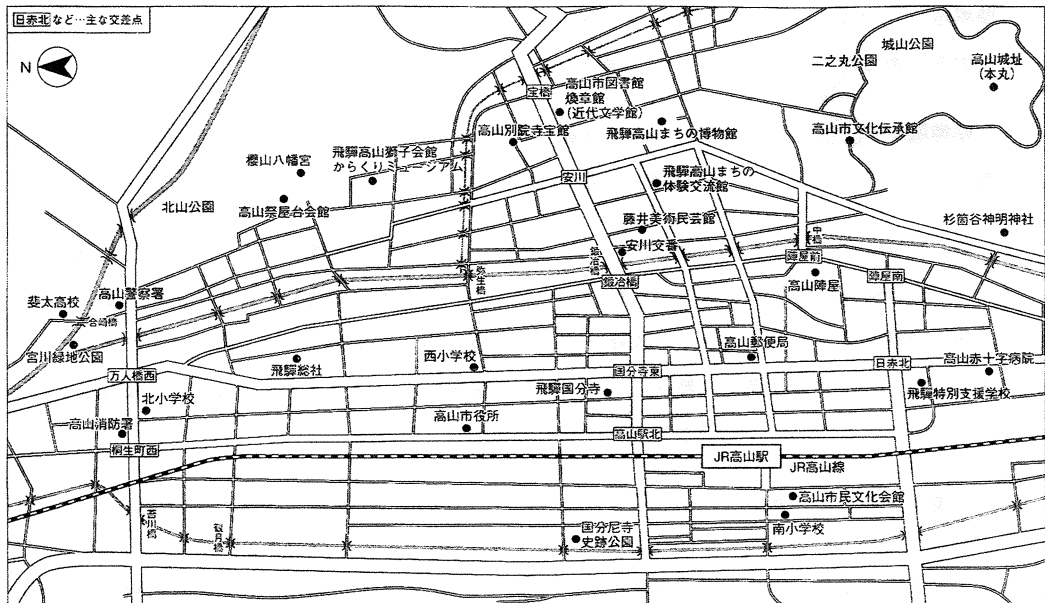
1. この国最大の都市であり、世界の金融の中心地ウォール街がある。
2. 外国の設備や技術を導入するための五つの経済特区の一つである。
3. キリスト教の教会を中心として都市建設が進められた。
4. 造山帯に属するため、しばしば強い地震に見舞われている。

問2 Kさんは、岐阜県高山市を題材に調べ学習をおこないレポートを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

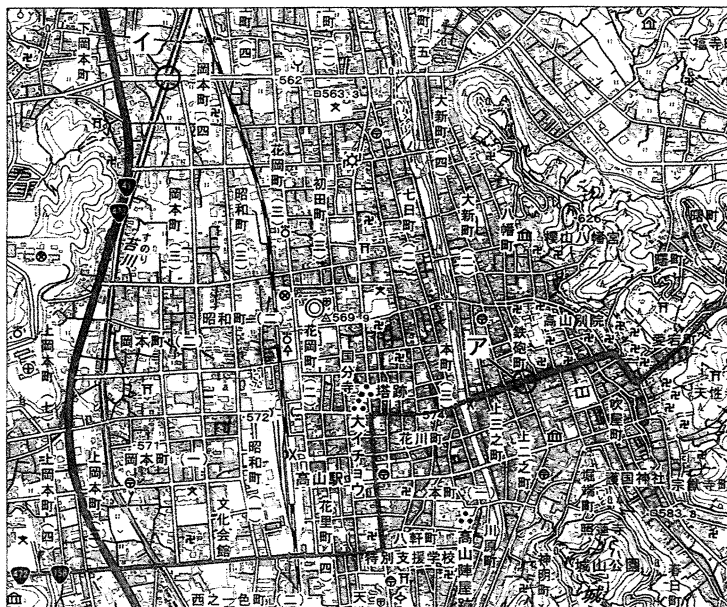
レポート

私は、新横浜駅で東海道新幹線に乗り、名古屋駅で在来線に乗り換え北上しました。北[□]とよばれる険しい飛騨山脈が右手に見えてきたところで、①中央高地に位置する②高山駅に到着した私は、市の案内図を使って調査を始めようとした。しかし、案内図では道路などが省略されていたので、地形図を用意して調査にのぞむことにしました。

案内図



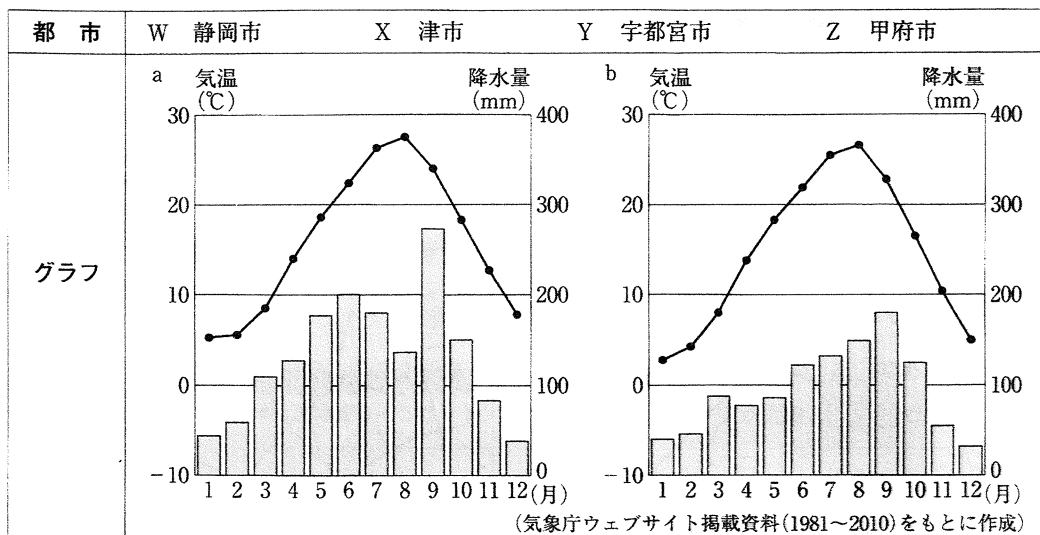
地形図



(国土地理院発行2万5千分の1地形図「高山」(平成28年発行)の一部改変)

(ア) レポート中の□にあてはまる語句を、カタカナ4字で書きなさい。

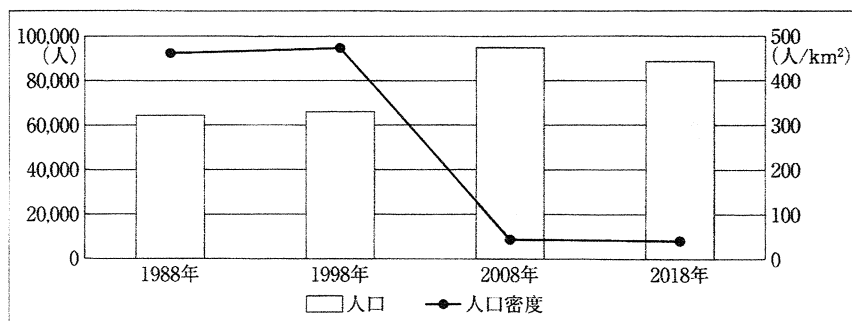
(イ) 線①に関して、この地方に含まれる都市の名称とその都市の気温と降水量を表したグラフの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。



- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. Wとa | 2. Wとb | 3. Xとa | 4. Xとb |
| 5. Yとa | 6. Yとb | 7. Zとa | 8. Zとb |

(ウ) 線②に関して、高山市の人口と人口密度の推移を示した次のグラフから読み取れることについて説明した文として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ



(高山市と国土地理院のウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- 1998年から2008年にかけての10年間で、人口密度は約20分の1になった。
- 人口は1998年からの10年間で約3万人増え、2008年からの10年間で約2万人減少した。
- 1988年の面積は、約1,400km²である。
- 1998年から2008年にかけて、人口の増え方よりも面積の増えの方が大きい。

(エ) 地形図上のア、イで示した地点に対応する案内図上の場所の組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. ア:「安川」の交差点 イ: 弥生橋 | 2. ア:「陣屋前」の交差点 イ: 弥生橋 |
| 3. ア:「安川」の交差点 イ: 苔川橋 | 4. ア:「陣屋前」の交差点 イ: 苔川橋 |